

平成27年3月25日

関東ラグビーフットボール協会

会長 貴島 健治 様

関西ラグビーフットボール協会

会長 坂田 好弘 様

九州ラグビーフットボール協会

会長 徳田 昇 様

(公財) 日本ラグビーフットボール協会

専務理事 矢部



U-12ミニラグビー競技規則、U-15ジュニアラグビー競技規則の改訂 および
平成27年改訂版競技規則の発刊について(通達)

拝啓 平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、下記の通り、「U-12ミニラグビー競技規則」および「U-15ジュニアラグビー競技規則」を改訂し、
これを平成27年4月1日から施行致します。

また、4月1日より「19歳未満 国内高専・高校以下用競技規則」を掲載した“平成27年改訂版競技規則（タ
グラグビー、U-12ミニラグビー、U-15ジュニアラグビー、19歳未満 国内高専・高校以下用）”を発刊施
行致します。

貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに、周知徹底いただきますようお願い申し
上げます。

なお、改訂した競技規則は、本協会のウェブページに掲載致します。

敬具

記

❖U-12 ミニラグビー競技規則 2015 の主な改訂箇所

1. 条 文：第10条 不正なプレー 10.4 危険なプレー、不行跡（低学年・中学年・高学年）

(h) 地上にあるイーブンボールを相手陣に強く蹴り込む行為。

改訂箇所：第10条10.4に、地上にあるイーブンボールについて、強く蹴り込む行為を禁止することを
明記（下線部）

2. 条 文：第13条 キックオフと試合再開のキック 13.1 キックオフの場所と方法（低学年）

(b) 得点後のキックオフは、得点された側のチームがハーフウェイライン中央において、
タップキックからのパスとする。なお、キックオフにおけるオフサイドライン解消は、
タップキックからのパスを後ろのプレーヤーがキャッチした時点とする。

改訂箇所：キックオフにおけるオフサイドライン解消のタイミングを明記（下線部）

3. 条 文：第13条 キックオフと試合再開のキック 13.18 キック

改訂箇所：(a)、(b)の文書を削除

❖U-15 ジュニアラグビー競技規則 2015 の主な改訂箇所

◎改訂ポイント

本年度の主な改正ポイントは以下の通りである。

- 1) 「WR 競技規則2015」における「試験実施ルール」の適用
 » U-15ジュニアラグビー競技規則では、試験実施ルールについては適用除外としてきたが、今年度から原則として適用する。
- 2) 「第20条 20-1 (g) スクラムの形成」の本競技規則での記載削除
 » 本年度から試験実施ルールを適用し、スクラムの組み方の手順は「WR 競技規則」に準拠することとした為、U-15ジュニアラグビー競技規則における第20条「スクラムの形成」20-1 (g) の記載は削除する。
- 3) 「7人制競技規則」の記載
 » U-15ジュニアラグビー競技規則において7人制ラグビーの標準競技規則を定める。
- 4) 「U-15ジュニアラグビー中学生安全競技基準」の運用徹底
 » 本競技規則に加えて、掲題の「U-15ジュニアラグビー中学生安全競技基準」等、同世代特有の基準、規程の運用を徹底する。
- 5) 「適用 (含む改定) 時期」の明確化
 » 本競技規則は、「WR 競技規則」の改定時期に出来る限り合致するよう検討し、次年度以降の適用 (及び改定) 時期は、原則として毎年4月1日とする。

1. 条 文：第3条 プレーヤーの人数 3.12 入れ替わったプレーヤーが再度試合に加わること
 【7人制共通】 = 19歳未満標準競技規則 =
 入れ替わったプレーヤーは、他にリザーブ選手がいない場合には、負傷したプレーヤーの交替として、その試合に再び加わることができる。
改訂箇所：入れ替わったプレーヤーのリザーブ不在時交替について条文を新設
2. 条 文：第19条 タッチおよびラインアウト 19.10 ラインアウトにおける制限【7人制共通】
 (d) リフティングおよびサポート：プレーヤーがリフティングおよびサポート、またはいずれか一方を行う場合、ジャンプする味方のプレーヤーを持ち上げるか、サポートする場合は、後方、正面からを問わずにジャンプするプレーヤーのパンツ (ショーツ) を順手で握ってサポートしなければならない。なお、プレーヤーの太ももを直接サポートすることはできない。サポート、又はリフティングは後方から1名、正面から1名の計2名で行う。
改訂箇所：ラインアウトにおけるリフティングのサポート人数を明記 (下線部)
3. 条 文：第20条 スクラム 20.1 スクラムの形成
改訂箇所：(g) の文書を削除
4. 条 文：第23条 その他の規定【7人制共通】
 本U-15ジュニアラグビー競技規則に加えて、JFRUが規定している以下の規則、基準を準拠する。
 1) 「U-15ジュニアラグビー安全競技基準」
 2) 「U-15ジュニアラグビー中学生選手服装規程」
改訂箇所：第22条を定め新設
5. 条 文：【7人制ラグビー標準競技規則】
 U-15 ジュニアラグビーでは、「7人制ラグビー競技」を実施することができる。
 「WR 競技規則」(「19歳以下標準競技規則」、「7人制標準競技規則」を含む)、及びJRFU

が制定した「U-15ジュニアラグビー競技規則【7人制共通】項目」に以下の変更（或いは追加）を加えたものを、7人制標準競技規則とする。

5.1 試合時間

7人制における試合時間は14分に加えて、失われた時間とする。試合は競技時間7分以内ずつ、前後半に分けて行う。但し、「WR7人制競技規則」の例外措置である大会決勝戦の試合時間の規定については、これを適用しない。

5.7 その他、時間に関する規則

(i) 【Original⑩】1日あたりの試合制限

(4) 選手は7人制競技においては、1日3試合を超えて試合を行ってはならない。

(5) 協会は7人制競技においては、1日最大3試合を超えて試合を提供することはできない。

改訂箇所：7人制ラグビーの標準競技規則を定め新設

❖19歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則2015の主な改訂箇所

1. 条 文：第4条 プレーヤーの服装 4.1 追加着用を認めるもの（義務）

WR が追加着用を認めるものの内、以下のものは装着・着用を義務とする。

(f) マウスガード、歯を保護するもの

(g) WR競技に関する規定第12条に適合するIRB（現WR）マークがついたヘッドギア

改訂箇所：第4条を定め新設

2. 条 文：第10条 不正なプレー 10.4 危険なプレー、不行跡【Original⑪】

本則で規定された場合に加え、次のプレーを行ってはならない。

(t) 頭突き、体当たりおよび頭の下がったタックルすること。

(u) ボールを持っているプレーヤーが故意に肘または膝を前に出して相手にあたること。

(v) いずれのプレーヤーもモールへ参加する場合を含めて、全てのプレーや局面において頭を肩や腰より低く（ローヘッド）するプレーをすること。

罰：反則の時点においてペナルティキック

改訂箇所：第10条を定め新設

3. 条 文：第15条 タックル 15.5 タックルされたプレーヤー【Original⑫】

(h) タックルされたプレーヤー、あるいは地面に倒れたプレーヤーが、身体と地面の間にボールを確保し足の間からボールを後方に押し出すプレー（「スクイーズボール」）をしてはならない。

罰：ペナルティキック

改訂箇所：第15条を定め新設

4. 条 文：【全国高等学校体育連盟ラグビー専門部申し合わせ事項】

1. 男女のゲーム等【Original⑬】

男女でのコンタクトプレーを伴う練習及び試合は原則として禁止する。

2. 試合開始時の人数【Original⑭】

公式戦においては、試合開始時に両チームともに15名が競技区域にいなければならない。

改訂箇所：全国高等学校体育連盟ラグビー専門部申し合わせ事項を定め新設

以上